

文艺 六月号 中桐多稿



9P  
9P

解  
学

48  
字組

19  
行

毛ノ

吉

文藝  
印

9

2日  
各は5号八分  
①ケイがミナ

成  
子  
助  
書

分七

南川  
潤

分72

2人本や説と書ころと思つてゐる。このテ  
 ーは、私と死に負ふ二人の酒場の氣遣かう  
 出逢ふ。只漢で錢をつてゐるう。冗  
 かなあややかな私の心のゆい結晶を上げ  
 めぬ。テーは先生の是すい久遠一かつりての  
 る。この回数工のほ、それと主眼する技術と  
 テーの筆をさへつる交合する修養とである  
 私(い)の力強を著しむの十 教 年の歳月  
 徳を云へば かの女界であらう。たか、そ  
 うゆつくりはしてゐるか否か。そのつかりに  
 少しつゝ、勉強もはげめてゐる。同じく大毛  
 とつてゐる。  
 2か  
 握(建)書ころとあるが、彼の初書と公言するは  
 ほととすかの。余りに松と録のそと無謀とあり

細は狭いが、眼の旁とした美しい顔が、若く見せる手だけをしてゐる。...